

第77回卒業証書授与式 式辞

厳しい寒さの日もありますが、日差しは徐々に力強くなり、通用門にある梅の花も、つぼみがほころび始めて、春の訪れを告げています。

77期生の皆さんご卒業おめでとうございます。早いもので皆さんも、もう卒業です。この3年間、一人一人に、それぞれの学びがあったことと思います。高校時代に経験し、得たものはこの後の人生において、力強い糧となります。この3年間で、できたこと、できなかったことがあると思いますが、できたことを数えると、できなかったことなど霞んでしまうほどその多さに圧倒されるはずです。うまくいかなかったと今感じていることについても、やがては、その経験が必要なことであったと気づく時がやってきます。春日丘高校における達成感を確かなものとして、自信を持って今後の人生を歩んでいってください。

この3年間で振り返ってみると、皆さんが入学してきた令和4年4月は、新型コロナウイルス感染症も3年目を迎えていました。ですが、制限のある生活は続いていました。入学式は、保護者の方の参列についても、お一人のみということでご協力をお願いいたしました。それから1年間はマスク着用の日々が続き、行事などでも大きな声を出したりすることができない状況でした。

この3年間は、そうした制限のある生活から少しずつ復活する道のりだったように思います。学校生活でも、授業におけるペアワークや発表活動、新歓オリエンテーションや体育祭・文化祭、音楽会など、徐々にできることが増えていきました。

この間、全国の多くの学校で課題となっていたのが、一旦中断した学校行事をもとの状態に戻すことができるのかということでした。記録の映像はあるものの、準備段階を含めて、生徒たちが実際に自分の目で見ていない行事を復活するのは、どこの学校でも難しいことでした。本校では、制限のある時期でも、春日丘の伝統を絶やさないように先輩たちがしっかりと伝えていってくれました。77期生の皆さんは、先輩たちのその姿をみて成長してきました。そして3年生となった今、後輩たちを導き、春日丘の伝統を取り戻してくれたと思っています。体育の部において最後に、生徒全員が「藤蔭青春を」の合唱をすることができたのは、その象徴だと思っています。

皆さんの入学と時を同じくして、私も春日丘高校に赴任してきました。だからこそ、皆さんへの思いも特別なものがあるかもしれません。毎朝あいさつをしながら皆さんの成長を日々感じていました。いつも地道に授業や学校行事、部活動に取り組む姿に力をもらってきました。77期生の皆さんは、それぞれの個性はありつつも、思慮深く落ち着いて行動できる人が多いという印象を持っています。そうした皆さんだからこそ、伝統を復活し、時代にあったものに再構築するという非常に貴重な時期を経験し、その役割を立派に果たしてくれたのだと思います。心から感謝いたします。

3年生の3学期に入ってから、皆さんの成長をより実感するとともに、これからの試練に恐れることなく立ち向かってほしいと願って過ごしていました。

3年前の入学式の式辞では、皆さんは111周年の年に、77期生として入学してきた節目の学年であると述べました。そして卒業式を迎える今年は、昭和でいえば100年という節目の年にあたります。私たちは100年間の歴史を振り返り、昭和、平成を教訓としながら令和の時代を生きていくこととなります。

これからの時代は予測困難です。世界を見渡すと、紛争があちらこちらで起こっています。いままでの価値観が揺らぐような出来事も日々起こっています。また、AIの登場など、科学技術も飛躍的に進歩しています。それらのことは私たちの生活に密接に関係しており、その中でこれからどう生きるのか考え、判断していかなければなりません。そのためにも、春日丘高校で学んだことを大切にしながら、新たなステージに進んでください。

虹は七色、7が二つ重なる77期生のスローガン、「NO RAIN NO RAINBOW」は、3年間様々な場面で皆さんを支えてきました。これは、「雨が降らなければ虹は出ない」「困難な出来事の後には、きっと良いことがやってくる。だから、希望を持って、辛いことも乗り越えていこう」という意味のことわざです。77期生では、「やまない雨はない」と副題をつけておられました。

この言葉は、卒業後も皆さんに勇気と力を与え続けることでしょう。18歳を迎えて成人となった皆さんには、一人一人が大切にされる社会の創造に貢献いただくとともに、これからの困難に負けず、どうか自らも豊かな人生を送ってください。

結びに、保護者の皆さま、お子様のご卒業誠におめでとうございます。これまで本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。3年前とは違い、本日こうして人数の制限を設けずに、卒業式を行うことができ心から嬉しく思います。

また、本日ご臨席賜りました来賓の皆様をはじめ、PTA、後援会、藤蔭会の皆さま、誠にありがとうございました。大人の仲間入りをする生徒たちが、本当の意味で自立するまでまだご支援が必要かと思えます。引き続き、よろしくお願いいたします。

77期生の皆さんが、自主・自律・自由な校風の中で培われた力に自信をもち、これからの人生を、自分らしく活躍されることを強く願いまして、卒業にあたってのメッセージいたします。

令和7年2月28日

大阪府立春日丘高等学校

校長 濱崎 年久